



スズキ、日産、マツダ車両 一括作動処理時のカーペット引火について

平素はエアバッグ類の適正処理にご尽力いただき、ありがとうございます。

さて、下記対象車両について、エアバッグ類一括作動処理を実施した際に、運転席側後方のフロアアンカー部に装備されているラップアウトプリテンショナー*から乗員乗車時よりも多く高温高圧のガスが噴出し、その熱によってカーペット等に引火する可能性があります。（※適正処理情報 共通情報では、ファイナルアンカーと表記しています。）

したがって、**エアバッグ類一括作動処理実施前に以下作業手順に従ってフロアカーペットからラップアウトプリテンショナー部を露出させてから、一括作動処理を実施してください。**

1. 対象車両

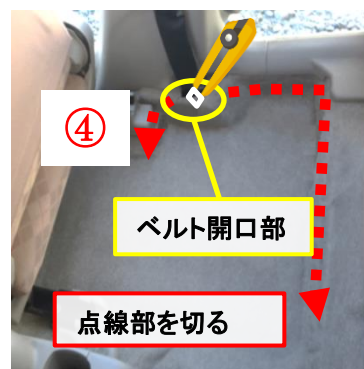
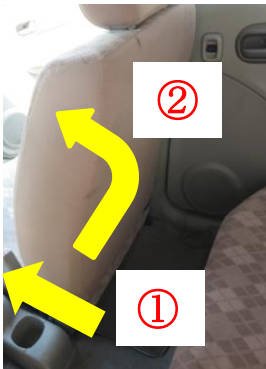
メーカー名	通称名	型式 (自動車排出ガス識別記号を除いた記号)
スズキ	アルト	HA24S/HA25S/HA35S
	ラパン	HE22S
	セルボ	HG21S
日産	ピノ	HC24S
マツダ	キャロル	HB24S/HB25S/HB35S

2. 作業手順

作業手順

～適正処理情報で定める安全対策に加え、以下の作業を実施してください～

- ① 運転席シートを最も前にスライドさせる
- ② 運転席シートのリクライニングレバーを引き、
- ③ 後席足元にあるマット等は全て取り除き作業スペースを確保する
- ④ ベルトの開口部からカッターを入れ、点線部を切る
- ⑤ カッターで切ったカーペット端部をカーペットの下に入れこむ
- ⑥ 運転席のシートバックを引き起こして元に戻しシートスライドがロックしていることを確認する



フロン類・エアバッグ類に関する最新情報は、自再協 HP よりご確認ください。

クリック

自動車再資源化協力機構

TEL: 03-5405-6150 / E-mail: info@jarp.org